

水道・下水道管のデジタルマップのWeb公開をはじめます。

担当：上下水道部総務経営課 山下（電話 0979-24-1234）

令和5年4月3日より水道・下水道管の布設状況をインターネット上で公開し、上下水道部庁舎に来なくても事務所やご自宅で確認できるようになりました。今後も、布設状況の更新や搭載する情報を追加し、機能を充実させていきます。

「中津流 DX」Web ページ

1. デジタルマップの概要

公開方法

- ・地域ごとに水道・下水道の Google マップを公開。
- ・中津市ホームページや「中津流DX」上のURLもしくはQRコードからアクセス。

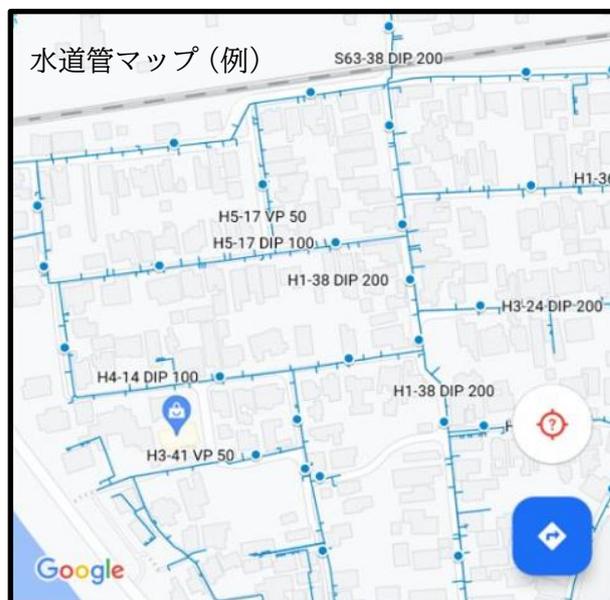


水道管マップ

- ・配水管等の布設状況。
- ・配水管の布設年度、管の素材及び口径。

下水道管マップ

- ・污水管及び取付管※の布設状況
（※取付管…污水管とマスをつなぐ管）
- ・污水マス及びマンホールの位置。



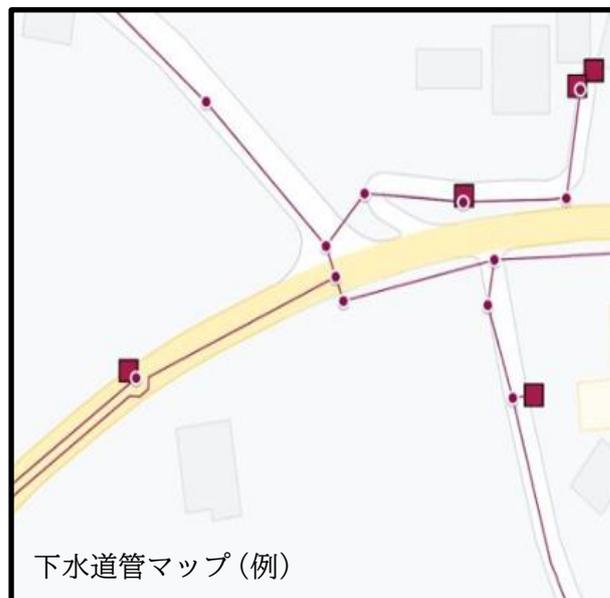
2. 地図の見方

水道管

- ・青い線は配水管等
- ・青い丸は管路の情報であり、
左から布設年度-番号、素材、口径

下水道管

- ・赤い線は污水管と取付管
- ・赤い丸はマンホール
- ・赤い四角は污水マス



3. 作成までの経緯

背景

- ・ 管が通っているかどうかの問い合わせについては、庁舎のモニターや紙媒体の地図で確認していたため、回答までにどうしても時間を要していた
- ・ 行政の持つ様々な地理情報をインターネット上に公開することで市民サービス向上や業務効率化を進める「公開型 GIS」の必要性を感じていた

【GISとは】

Geographic Information System の略で、電子地図上に様々な情報を重ねて分析や管理が行えるシステム（地理情報システムとも呼ばれる）

研修に参加

- ・ デジタルツールの操作からサービス実装までを集中的に学ぶ職員研修「Nakatsu DX School」を受講した職員が地図データの加工やインターネット公開の手法を学び、研修資料を参考にしながらマップを作成
- ・ データ加工から公開までクラウドサービスを使って内製化したことにより、ゼロコストを実現

今後について

- ・ 本マップをオンライン化することで問い合わせ件数の減少が期待される
- ・ 利便性向上のため情報を追加し、市民行政双方にとってよりよいマップになるように機能を充実させていきたい

【マップ作成から公開までのイメージ】



(注)QGISは、GNU General Public License で提供されている、ユーザーフレンドリーなオープンソースの地理情報システム (GIS) です。